

# 海外安全対策情報

(2021年6月)

在アルゼンチン日本国大使館

## 項目

- 1 短時間誘拐発生動向
- 2 邦人犯罪被害情報

# 「従来型誘拐」と「短時間誘拐」の違い

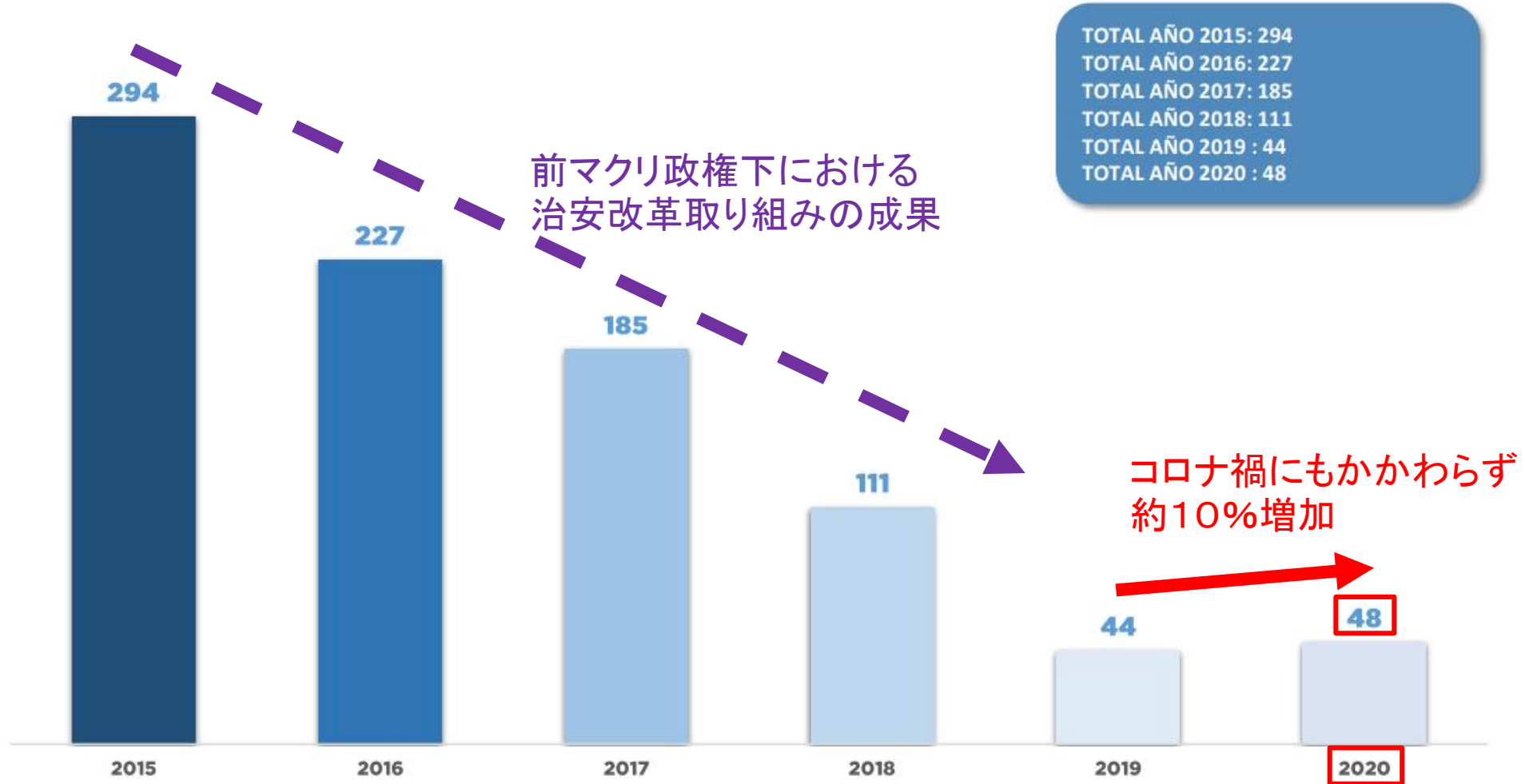
区分	従来型誘拐	短時間誘拐(連れ回し強盗)
対象	政治家や富裕層等(家族含む)	狙い易い人がターゲット (誰でも被害者になる可能性)
目的	イデオロギーや政治的目的の達成 又は高額的身代金獲得	比較的少額 (数万～数十万ペソ)の身代金獲得
犯行の特性	用意周到かつ計画的 (事前にターゲットの行動パターンを偵察し、 念入りに予行するなど準備する。)	無計画・短絡的
拘束時間	犯人との交渉次第では長期間に及ぶことも。	短時間(解放されるまで平均6時間)
被害者への 危害	身代金獲得等のため、一般に少ない。	短時間で目的達成するため、危害を加えることを厭わず、 <b>要求を拒めば殺害に至る</b> ことも。

- 短時間誘拐は、中南米地域で多く発生。
- 被害者を銃器等で脅して、車両に無理やり乗せ込み、連れ回してATMから現金を引き出させる等の犯行が多いことから、当地警察では短時間誘拐を「連れ回し強盗」と呼称し、強盗の一形態と定義。
- 短時間誘拐は、無計画・短絡的な犯行が多いことから特段、邦人を含む外国人が狙われるという訳ではない。→ **誰でも被害者になる可能性！**
- 従来型誘拐は、亜国内では2000年代をピークに減少し、現在は**ほとんどが短時間誘拐**。



亞連邦公共省檢察局誘拐特別捜査部 (UFESE: Unidad Fiscal Especializada En Secuestros Extorsivos)

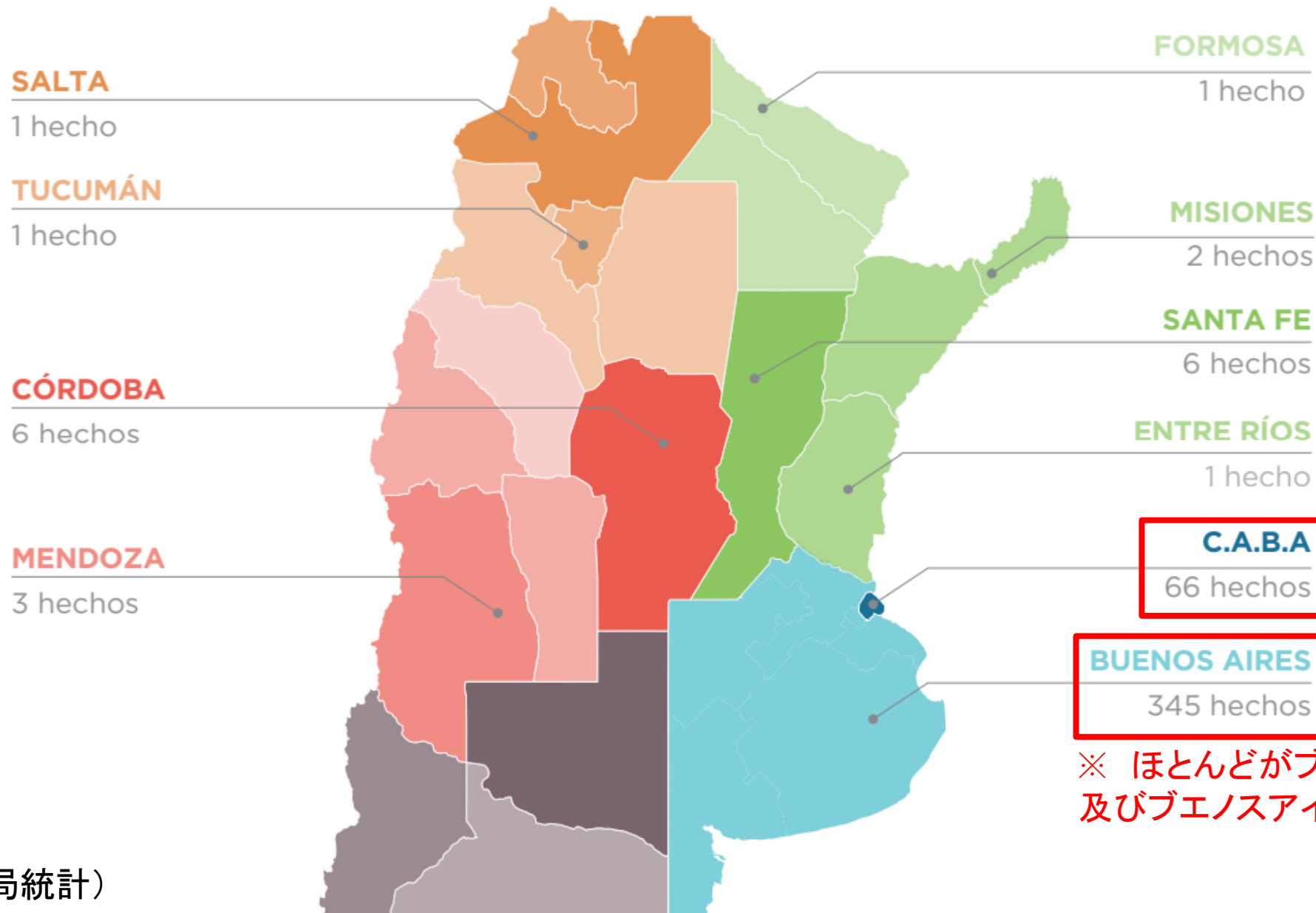
## 発生件数の推移(2015年~2020年)



(資料源: 亜檢察局統計)

# Mapa de ocurrencia en el ámbito nacional

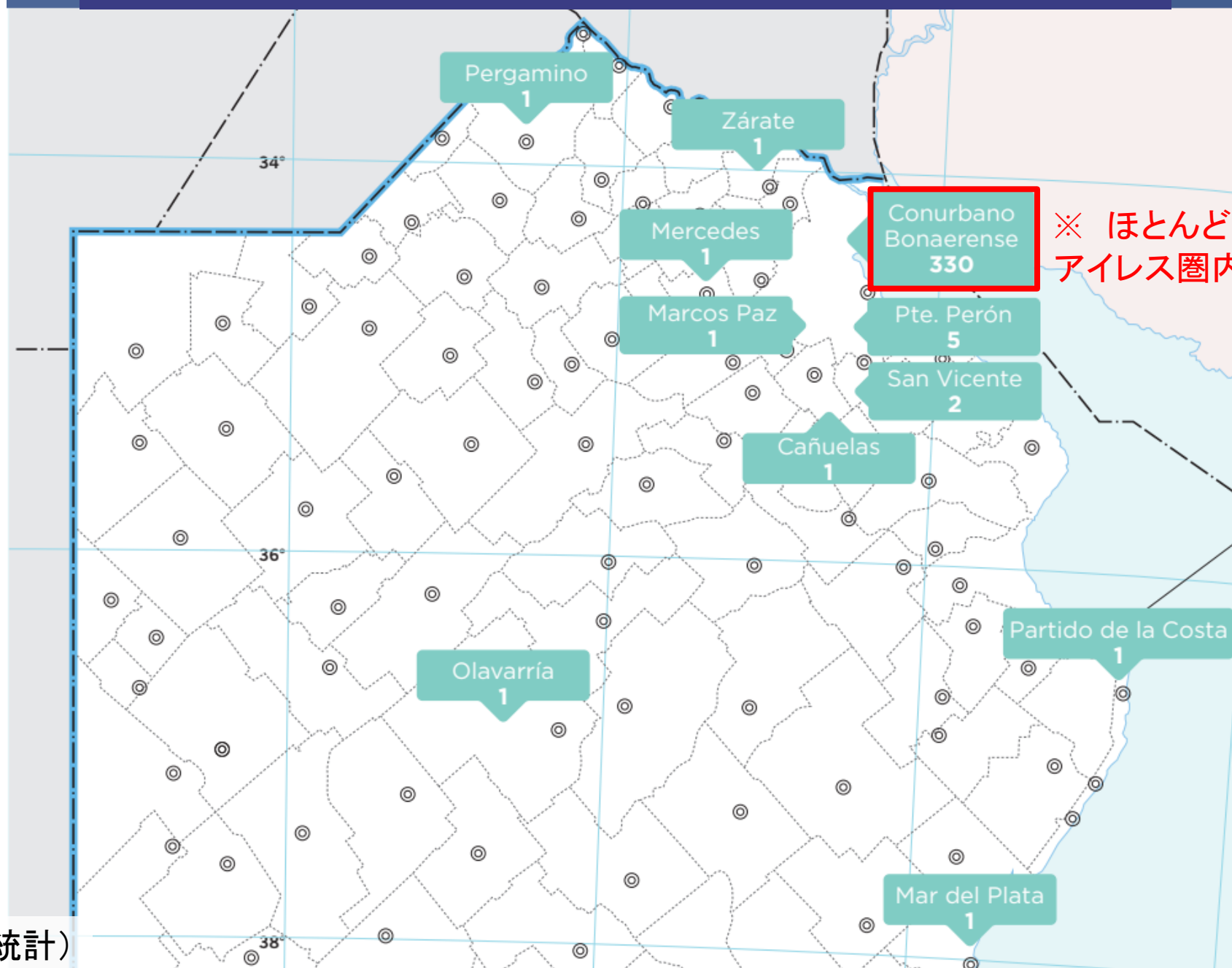
## 2016年～2019年(4年間累計)で432件発生



※ ほとんどがブエノスアイレス州及びブエノスアイレス市内で発生

(資料源: 亜検察局統計)

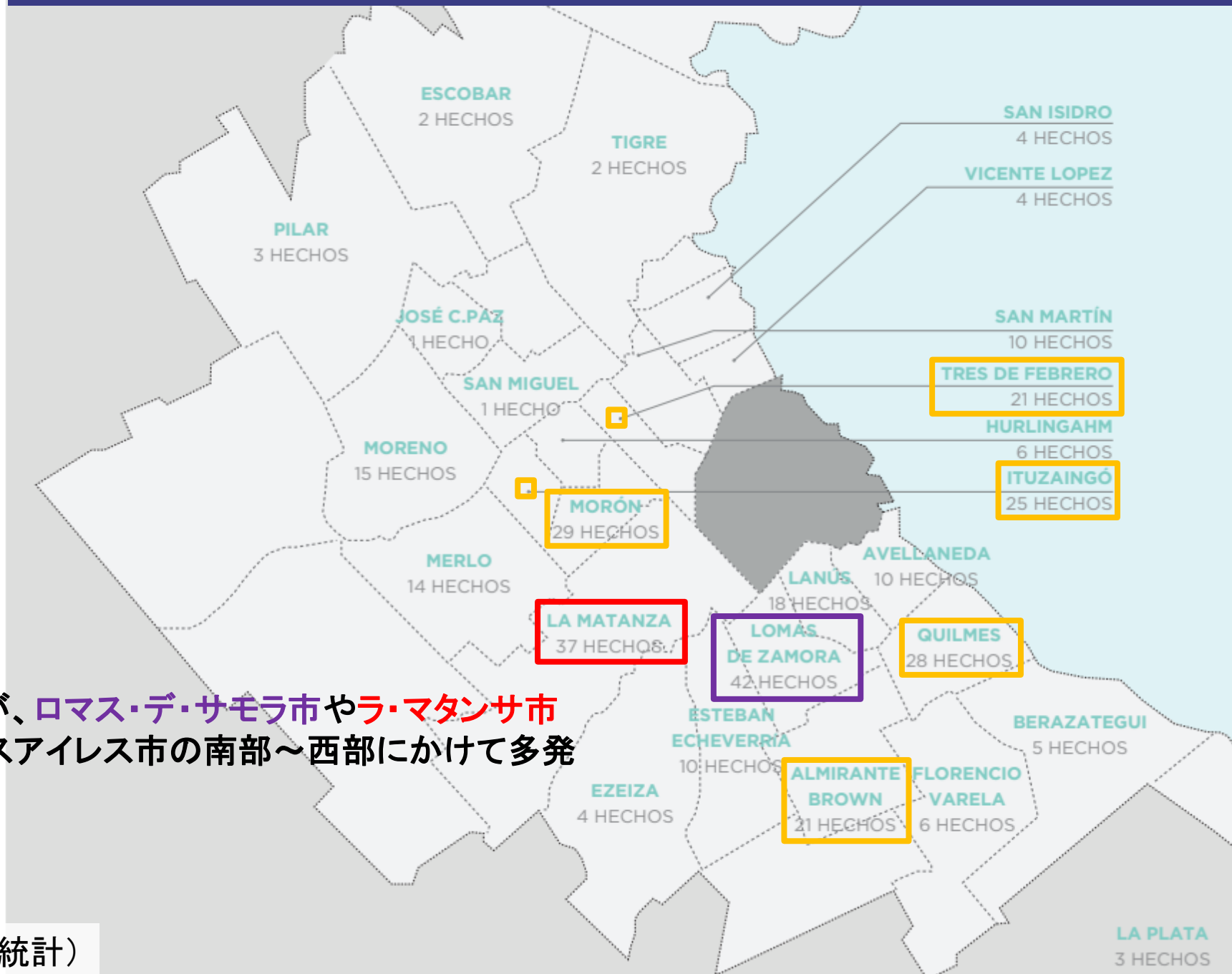
Mapa de ocurrencia en el ámbito de la provincia de Buenos Aires  
2016年～2019年(4年間累計)にブエノスアイレス州内で345件発生



※ ほとんどがグラン・ブエノスアイレス圏内で発生



2016年～2019年(4年間累計)に、グラン・ブエノスアイレス圏内で、330件発生



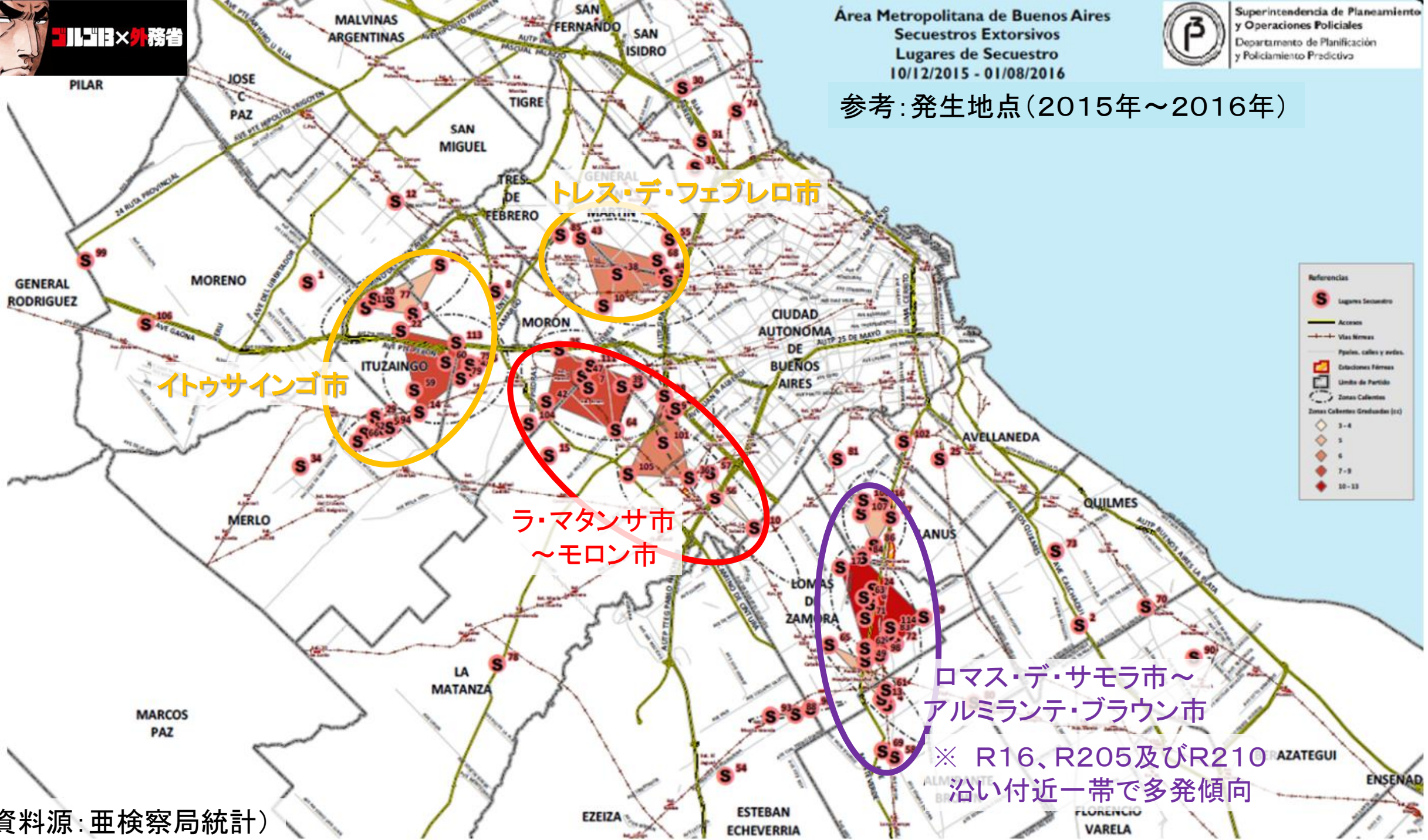
(凡例)

- 40～:
- 30～:
- 20～:

※ ほとんどが、ロマス・デ・サモラ市やラ・マタンサ市などのブエノスアイレス市の南部～西部にかけて多発



参考:発生地点(2015年~2016年)



トレス・デ・フェブレロ市

イトウサインゴ市

ラ・マタンサ市  
～モロン市

ロマス・デ・サモラ市～  
アルミランテ・ブラウン市

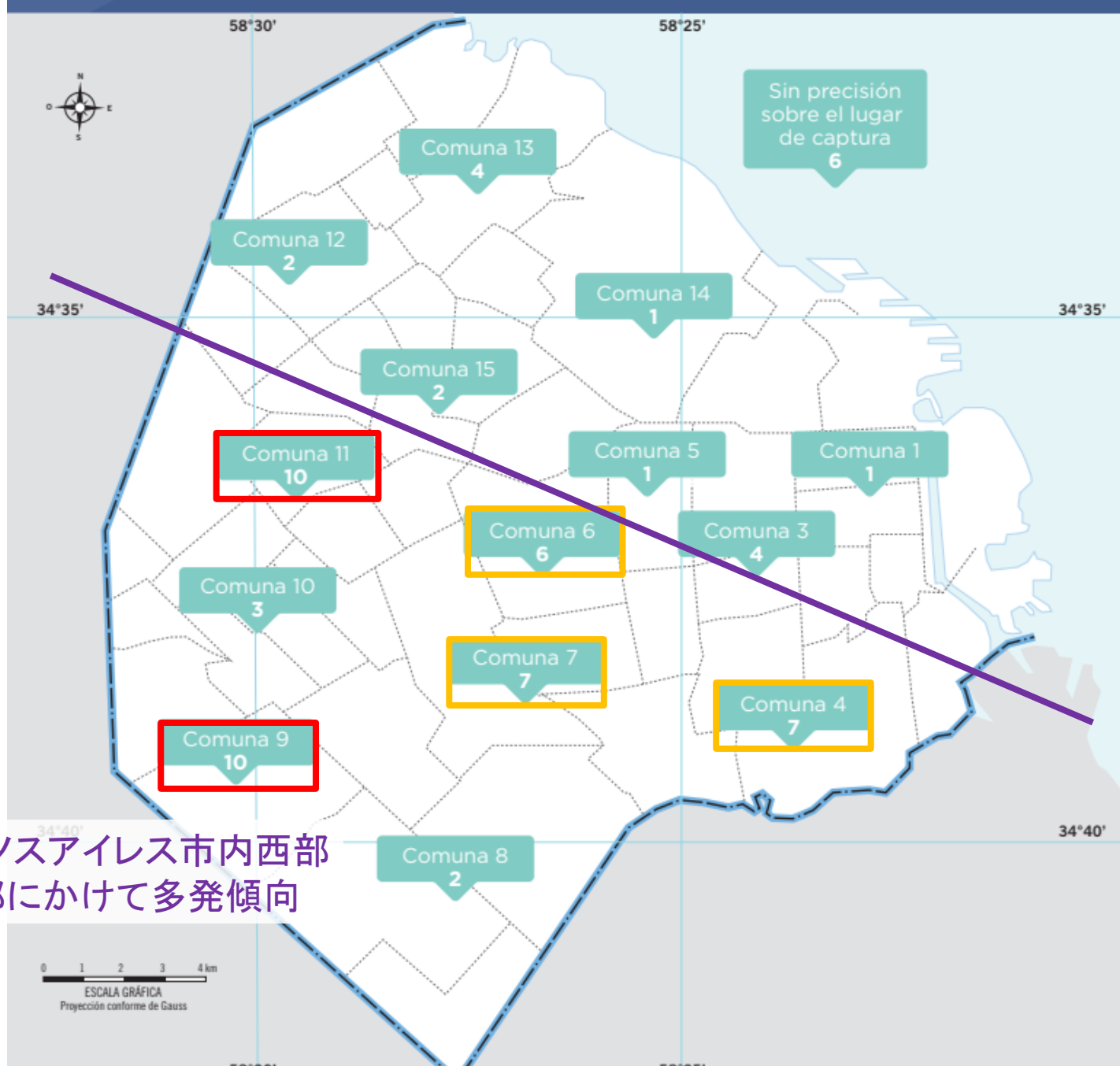
※ R16、R205及びR210  
沿い付近一帯で多発傾向

Referencias

- S Lugares Secuestro
- Aceros
- Vías Nexas
- Puntos, calles y medios.
- Estaciones Férreas
- Limbo de Partido
- Zonas Calientes
- Zonas Calientes Graduales (rc)

◇	3 - 4
◇	5
◇	6
◇	7 - 9
◇	10 - 15

# 2016年～2019年(4年間累計)にCABA(ブエノスアイレス市)内で、66件発生

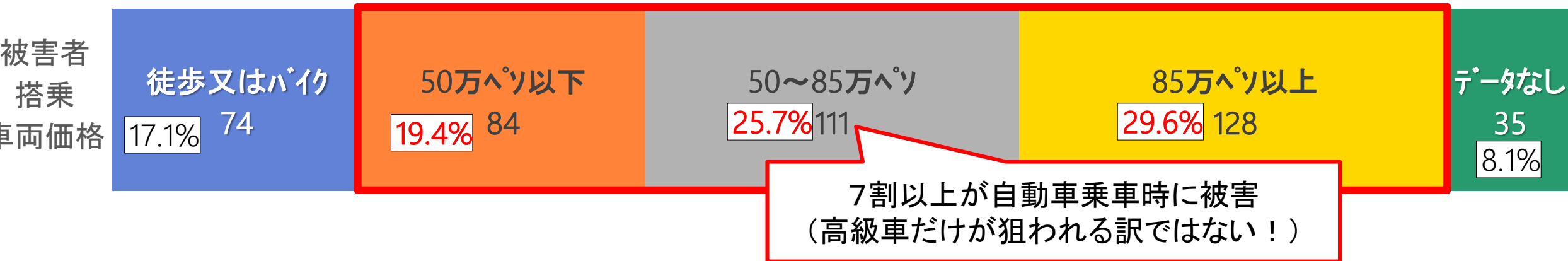
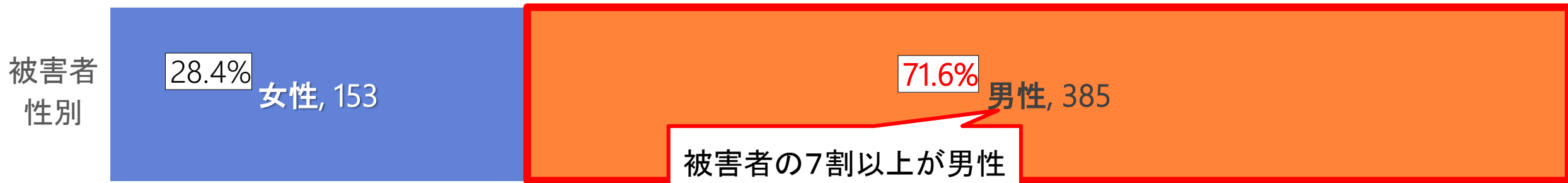


(凡例)  
10～:    
5～:  

※ ブエノスアイレス市内西部  
～南部にかけて多発傾向

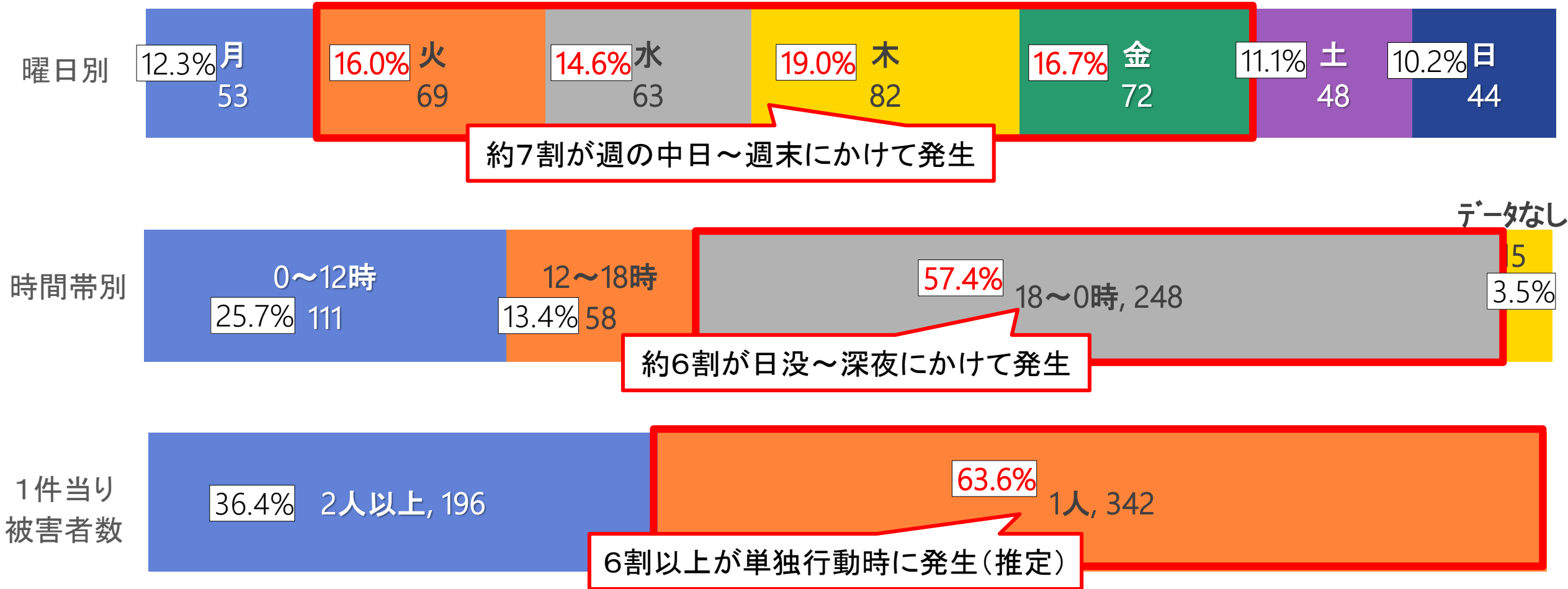


# 項目別統計による傾向(1/3)



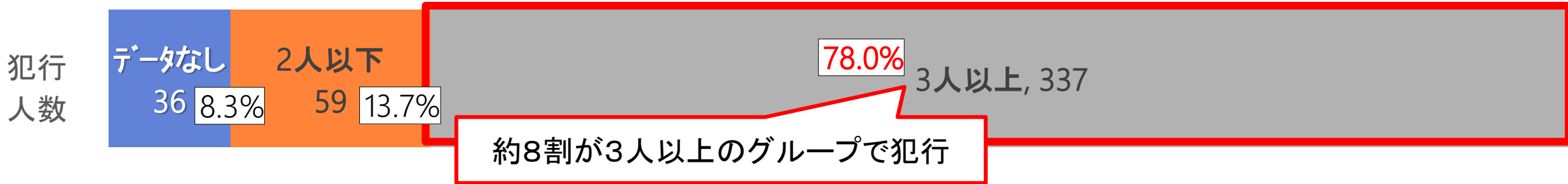
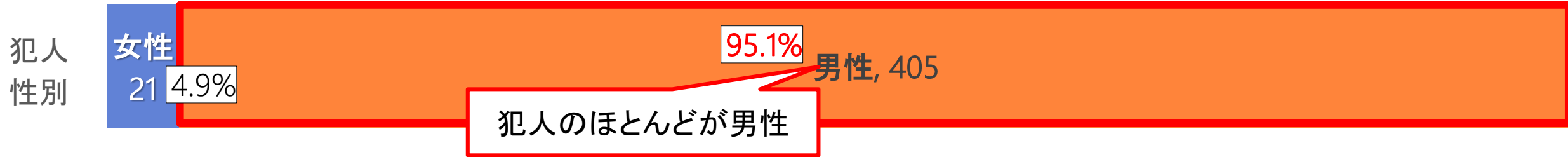
(参考) 身代金の平均支払い額  
 2016年: 約68,000ペソ、2017年: 約134,000ペソ、2018年: 約96,000ペソ  
 → 新聞報道等から最近の相場は、約200,000ペソ程度と推定

# 項目別統計による傾向(2/3)



★ 平日の夜間、一人での自動車による帰宅時など特に注意が必要！  
 → 帰宅時には、尾行や待ち伏せされていないか、要警戒！！

# 項目別統計による傾向(3/3)



★ 男性3人以上による犯行グループが多く、尾行・監視役、運転手、脅迫役など役割分担していることが多い。

→ 何者かに監視・尾行されていると感じたら、最寄の警察、商店や民家に逃げ込んで助けを求める！

→ 犯人が男3人では多勢に無勢。手荒に扱われることも…万一拘束されてしまったら抵抗しない！

(グラフは亜検察局統計(2016～2019年)を基に当館作成。横棒グラフ内の数値は誘拐事件発生件数)

## まとめ

対策

- ・できるだけ人気の少ない場所での行動は避ける。
- ・単独行動は避ける。特に、夜間は一人で出歩かない。
- ・通勤経路を時々変える等、行動をパターン化しない。
- ・出張等の移動経路は、遠回りでも多発地域を避ける。
- ・高額な現金、預金や金品を保有している等、友人含め他人に話さない。
- ・華美な服装や宝飾品を身に着けない。
- ・外出時は家族や同僚に、目的地への到着・出発時など行動の結節時に連絡する。
- ・時折、背後を振り返ったり周囲を見回し、監視・尾行されていないか確認する。
- ・同じ後続車両が長時間追隨して来たら、狙われている可能性  
→ そのまま帰宅せずに、最寄の警察署や人目の多い場所に逃げ込む。

結言

- ・いわゆる「**短時間誘拐**（連れ回し強盗）」は、富裕層や邦人を含む外国人の**みが目標とされる訳ではなく、誰でも被害者になる可能性**  
→ 安全のための3原則を、常日頃から肝に銘じて行動を！  
1 「**目立たない**」、2 「**行動を予知されない**」、3 「**用心を怠らない**」

## 邦人犯罪被害情報

被害者	日本企業駐在員の男性（ <b>駐在歴数年のベテラン</b> ）
日時	2021年3月14日午後2時頃
場所	ブエノスアイレス市サン・テルモ地区ドレーゴ広場付近
被害	腕時計（ひったくり）
犯人	2人組の男（ひったくり役＋逃走用バイク運転手）
被害状況	<p>被害者が、カフェ店外の路上に設けられた席にて、コーヒーを飲んでいたら、男が急に接近してきて、机を強打したため、コーヒーカップが倒れて、コーヒーが衣服にかかった。</p> <p>被害者が突然のことに驚き、茫然としていたところ、机の上に置いてあった腕時計が盗難されていたことに気付いた。</p> <p>犯人は走り去って、付近で待機していたバイク後部に乗って逃走した。</p>
教訓事項	<p>★ 飲食店の路上席は、できるだけ使用しない（警察官の近くが望ましい）。</p> <p>★ 腕時計、スマホ及び財布等の<b>貴重品は、常に身体から離さない。</b></p> <p>→ 企業駐在員やご家族など長期滞在者は、現地に慣れてきた頃に緊張感・警戒感が低調になる傾向（<b>油断大敵・初心忘るべからず！</b>）</p>

## ～情報提供のお願い～

強盗、スリや置引きなど犯罪被害に遭われた際は、当館領事班までご一報ください。

皆さまから寄せられた情報を活かして、今後の邦人被害の予防対策に役立てることができます。


ご協力よろしく申し上げます！

在アルゼンチン日本国大使館領事班

Eメール：[conbsas@bn.mofa.go.jp](mailto:conbsas@bn.mofa.go.jp)

電話：011-4318-8220

開館時間：09:00～12:30、14:30～17:00（月～金曜日（祝日除く））



「たびレジ」には  
登録したのか  
……